

令和3年度 クルーズの安全安心な受入れを通じた地域活性化事業

課題等

- 新型コロナウイルス感染症の発生後、クルーズ船寄港のキャンセルが相次ぎ、厳しい状況が続いている。
- 受入側は寄港を通じて地域経済を活性化させたいが、寄港地観光により地域に感染症が持ち込まれるのではないかと不安。
- 船社側もクルーズ船を寄港させたいと考える一方で、寄港地観光により船内に感染症が持ち込まれるのではないかと不安。
- 安心してクルーズが楽しめるように、受入再開の準備段階から受入側と船社側等が相互理解を深める必要がある。

対応方針

- 成長戦略フォローアップ(令和2年7月17日閣議決定)において、「クルーズ船と受入港の安全安心確保に係るガイドラインを2020年度を目途に策定する等、再び安心してクルーズを楽しめる環境整備を図る。」としたところ。
- 国土交通省では9月18日に「クルーズの安全・安心の確保に係る検討・中間とりまとめ」を公表。同日、関係業界団体が国内クルーズに係るガイドラインを公表。
- クルーズ船受入による地域経済への波及効果を再確認し、受入側と旅客側がともに安心して楽しめる環境の整備を図るプログラム・事業の支援を行う。

事業内容

① クルーズ船受入の相互理解促進

- 港や周遊先におけるクルーズ船寄港に対する理解促進
→クルーズ船寄港により地域活性化とクルーズ旅客と受入側が互いに安心できるよう、感染症対策等について、船社・地元の相互理解を促進する(クルーズ船内覧会、セミナー、FAMツアー)
- 寄港地における積極的な消費環境創出
→感染症対策を行った地域(観光地)と連携したツアーメニューの造成を支援

② 船内等で行う寄港地観光の消費喚起

- 地元産品の船内プロモーションを通じた好循環
→①船内でのレストランやイベントでの地元産品提供・ストーリー発信
②寄港地での地域観光資源活用、地域産品消費
③帰国後で感動をもう一度、再度クルーズで日本へ!
→地元産品の消費拡大、寄港地の観光資源活用へ貢献

③ 新たなクルーズ様式に沿ったフライ&クルーズの商品造成

- クルーズ利用者と受入側の安全・安心を確保し滞在促進による消費拡大に資するクルーズの商品造成に向けた実証実験事業を支援(キャッシュレス対応、ワーケーションに必要な環境整備、感染症対策のためのアプリの活用の調査等)

④ クルーズ船の安全な寄港再開支援

- 寄港実績の無いクルーズ船の寄港の際、航行安全の検証等を行う港湾管理者への支援

事業スキーム

- 事業対象者: 地方公共団体(港務局含む)、クルーズ振興のための地域の協議会等
- 補助率: 1/2以内

効果

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により減少したクルーズ船の寄港を回復させるとともに、地域経済の活性化に繋げる。

